

こたえ

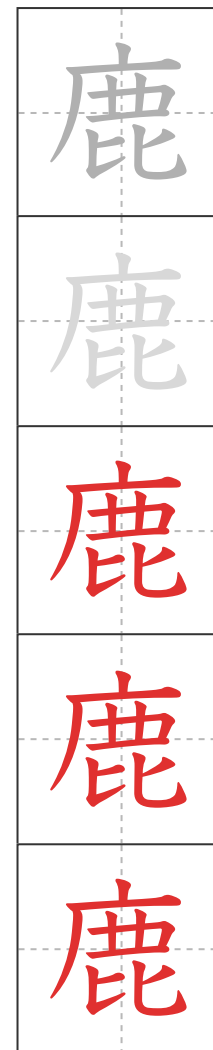
「鹿」を書こう

基礎 ⑨

鹿

11画
部首 鹿
(しか)訓 しか・か
意味 しか。また、鹿児島県のこと。

1 書き順をたしかめて、5回書こう。



2 言葉と例文を読もう。★の言葉をなぞって、書こう。

★ 鹿 (しか) 「公園の鹿。」

★ 子鹿 (こじか) 「子鹿が歩く。」

★ 鹿児島 (かごしま) 「鹿児島の火山。」

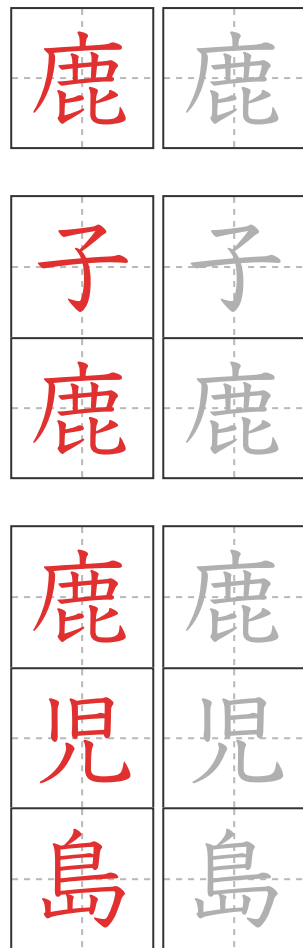
鹿児島県 (かごしまけん) 「鹿児島県の島。」

鹿の角 (しかのつ) 「鹿の角は大きい。」

しか

こじか

かごしま



3 「鹿」を使って、文を作ろう。

鹿児島県には火山がある。

おうちの方へ

- 「鹿」は11画。書き順の図の青い線は「いま書く画」、●は書きはじめ。3の文は一例です。
- 読みは、文部科学省「音訓の小・中・高等学校段階別割り振り表」で小学校に割り振られた音訓です。